

2020
年度

子どもたちの



ココロを育む
総合フォーラム

“ココロを育む活動”

9/11(金)
17:00応募締切

応募方法は
裏面をご覧ください

家庭、地域、学校、企業などが、
それぞれの立場で子どもたちの
ココロを育むために献身、努力している
活動を募集します

大募集

表彰

全国大賞(1件) **50万円**
優秀賞(5件程度) **20万円**



子育てで大切なのは、「育てる」方法よりも、
そこにいると子どもが勝手に「育つ」ような環境を用意しておくこと。
そして、みんなの力を足し算すること。
「これも教育？ あれも教育？」といった、ちょっと意外で、
自分も一枚かみたくなるような楽しい取り組みをご紹介します。



ココロを育む総合フォーラム 座長 鷲田清一

2020
年度

子どもたちの “こころを育む活動”大募集

対象となる 活動

家庭、地域、学校、企業などのさまざまなグループで、継続している活動

子どもたちに持ってほしい“3つのこころ”が育まれる活動

自分に向かう“こころ”……自立心や自尊心を確立し、人間らしさや自分らしさを理解するこころ

他者に向かう“こころ”……人と人のかかわりを大切に、他者を思いやり、傷つけないこころ

社会に向かう“こころ”……さまざまな価値観を尊重し、社会と自分の関係性を理解するこころ

※新型コロナウイルスの影響による今年度以降の一時的な休止、または、オンラインでの活動も対象です。

※活動拠点が日本国内にあること ※政治活動、布教、営利目的ではないこと ※これまでの“こころを育む活動”受賞先は対象外

応募 方法

「応募申請書」は、2枚【必要事項1枚+活動内容(1200字)1枚】です(他薦も応募できます)

詳細は下記ホームページを確認のうえ、応募登録ページから申請ください



<http://www.kokoro-forum.jp/>

こころを育む

検索

応募締め切り

9月11日(金) 17:00



※応募関係書類は当事務局で厳重に管理し、「こころを育む総合フォーラム」運営に関わる事項以外には使用しません
※写真は審査時のみ使用します

選考の際に 重視する点

- タイトルは、活動内容をイメージできる言葉で簡潔に表現してください
- 活動内容は、以下の3点が盛り込まれていることが望ましいです
 - ①本活動を始めるきっかけとなったこと
 - ②本活動を無理なく続けていくために大切にしていること
 - ③本活動を通じての、心が和む、ほっこりとしたエピソードや子ども・周囲が変化したこと
- 選考に当たっては、現地調査も行うことがあります

表彰

- 全国大賞1件(賞状および賞金50万円)、優秀賞5件程度(賞状および賞金20万円)
- 結果発表は12月(予定)に当フォーラムのホームページにて発表し、入賞団体への文書にて通知します
- 受賞団体は表彰式(2月頃開催予定)にて受賞活動を発表していただきます

選考委員

鷲田 清一(大阪大学 名誉教授)を座長とした「こころを育む総合フォーラム」メンバー(計11名)



市川 伸一 東京大学 名誉教授

「ユニークだけれど、工夫すればうちでもできそう」と思えるような取り組みを紹介してもらえることを、期待しています。



今村 久美 NPO法人カタリバ 代表理事

人と会って活動すること自体に制限がかかる時代。でもこんな時だからこそ、地域に根ざし、地道で意義ある活動をされているみなさん、応募をお待ちしています!



入江 杏 絵本作家、「ミシュカの森」主宰、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師
悲しみから学ぶ「グリーンケア」は、悲しみは愛しみであることとの出会い。誰かの悲しみに気づいてそっと手を差し伸べる…「こころを育む」活動を応援しています。



小国 綾子 毎日新聞ジャーナリスト

疑問符はちょっと背伸びすると感嘆符になります。子どもたちの「？」を大切に育み、「！」に変わる瞬間を共に喜び……そんな活動と出会えることを楽しみにしています。



工藤 啓 NPO法人育て上げネット 理事長

ふと、子どもたちの心が育まれている、そんな日常の気づきや小さな変化を生むきっかけ。ちょっとみんなに聞いてほしいエピソードや活動を期待しています。



玄田 有史 東京大学社会科学研究所 教授

この春、公園や川べりで走り回る子どもたちを、たくさん目にしました。子どもの元気、安心、笑顔を支えている、大人の日頃の「本気」と「底力」に出会うのが、楽しみです。



鈴木 みゆき 国立青少年教育振興機構 理事長

日々の生活の中で気づいたこと、人とのつながりの中で心に響いたこと、それはあなたを揺さぶるエネルギーです。動いてみない? あなたに会えるのを楽しみにしています。



福田 里香 パナソニック株式会社CSR・社会文化部 部長

「教育」というと何かを教えなければと思いがちですが、何かをすることによって自然に学んでいる、そんな、えっ、これも教育? あれも教育? という活動、お待ちしております。



増田 明美 スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学 教授

スポーツの魅力は、教育性やコミュニケーション性の高さです。そんなスポーツの力を活用して、こころを育てている活動もたくさんあるでしょう。ぜひ応募してくださいね。



山極 壽一 京都大学 総長

この世界はさまざまないのちのつながりできています。それを感じ、ひとつひとつのいのちを輝かせることが人間の心の働きです。そんな心を育むような活動を期待しています。

問い合わせ先

公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階
TEL 03-5521-6100 FAX 03-5521-6200